

(様式第4号)

上田市林業振興協議会 会議概要

|             |  |
|-------------|--|
| 1 審議会名      | 上田市林業振興協議会   |
| 2 日時        | 平成26年1月28日 午前2時から午前4時まで  |
| 3 会場        | 上田市森林センター 2階 会議室   |
| 4 出席者       | 関会長、宮原委員、久保田委員、芳澤委員、飯田委員、大久保(陸)委員<br>高橋委員、加々美委員、酒井委員、大平委員、中曽根委員、内田委員、金井委員、<br>柿畠委員、西澤(一)委員、西澤(節)委員 |
| 5 市側出席者     | 甲田農林部長、内川森林整備課長、柏木森林整備担当係長、嶋尾森林整備担当係長<br>岩下森林整備担当主査、竹内森林整備担当主査                                     |
| 6 公開・非公開    | 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開  |
| 7 傍聴者       | 1人 記者 0人   |
| 8 会議概要作成年月日 | 平成26年2月5日  |

協議事項等

- 1 開 会(嶋尾係長)
- 2 あいさつ(甲田農林部長)
- 3 会長・副会長の選出  
会長 関委員、副会長 大久保(守)委員を選出
- 3 協議事項
  - (1) 上田市森林整備計画(案)について
    - ・資料に沿い、事務局から上田市森林整備計画(案)について概要を説明
    - ・以降、協議
    - (委員) 計画書5P「林業機械等設置状況」の表中 その他合計2の内訳は何か。
    - (事務局) 集材機1、運材車1である。
  
    - (委員) 計画書10P アカマツ林の間伐に対する基本方針 9行目  
「松くい虫に耐える力強いアカマツ林を育て」とは、具体的にどういうことか。
    - (事務局) 抵抗性アカマツの事である。  
抵抗性アカマツの研究事業を県を中心に進め、経過観察していく。
  
    - (委員) 計画書56P 地域住民参加による取組みに関する事項 4行目  
グリーンキャスターとは何か。
    - (事務局) 上小地域で炭焼き、きのこ生産等森林林業分野に長けている方を認定し、指導者として活動していただいている。現在は、組織としての活動はない。
  - (2) その他について
    - ・協議
    - (委員) 空中薬剤散布についての上田市としての考え方は。
    - (事務局) 空中薬剤散布の再開の予定はない。地上薬剤散布等にて対応する。
  
    - (委員) 樹種転換について、全て広葉樹に変わるのか。
    - (事務局) 守るべき松林は樹幹注入等で残していくが、それ以外は天然更新で広葉樹に転換していく。
  
    - (委員) 守るべき松林としての対策は。
    - (事務局) マツとして残しておきたい場所を県知事、市長が守るべき松林として設定している。

(委員) 上田市では、自然資源の調査、学術的調査があるか。

(事務局) 森林の面から、生物の多様性に関する調査を行った事例はない。

(委員) 有害鳥獣駆除しているニホンジカの数、相当数は変わっていないのか。

(事務局) 駆除については猟友会に依頼しているが、一時期より減ってきている。原因が一時的なものか、空白期間があるのか、絶対的にどうなのか等、検証は済んでいない。

以上